



建築物総合環境計画概要書 新築

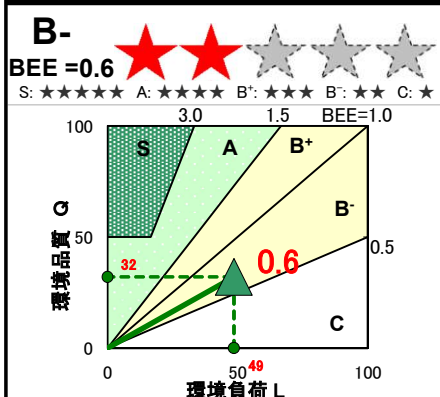
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要

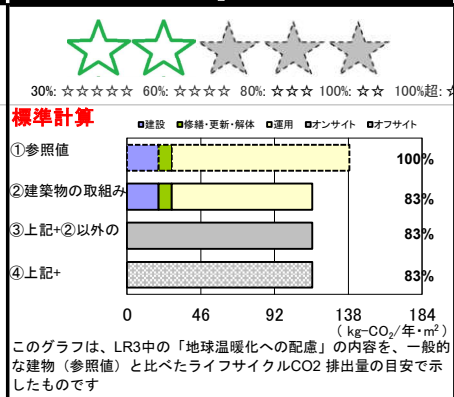
建物名称	(仮称)北区本庄西2丁目共同住宅 新築工事		
建設地	北区本庄西2丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	583.60	m ²	
建築面積	252.70	m ²	
延床面積	2,151.56	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上10階
完了年(予定)	2024年5月		

1-2 外観

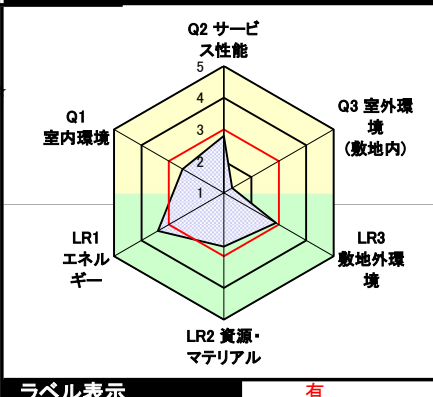
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



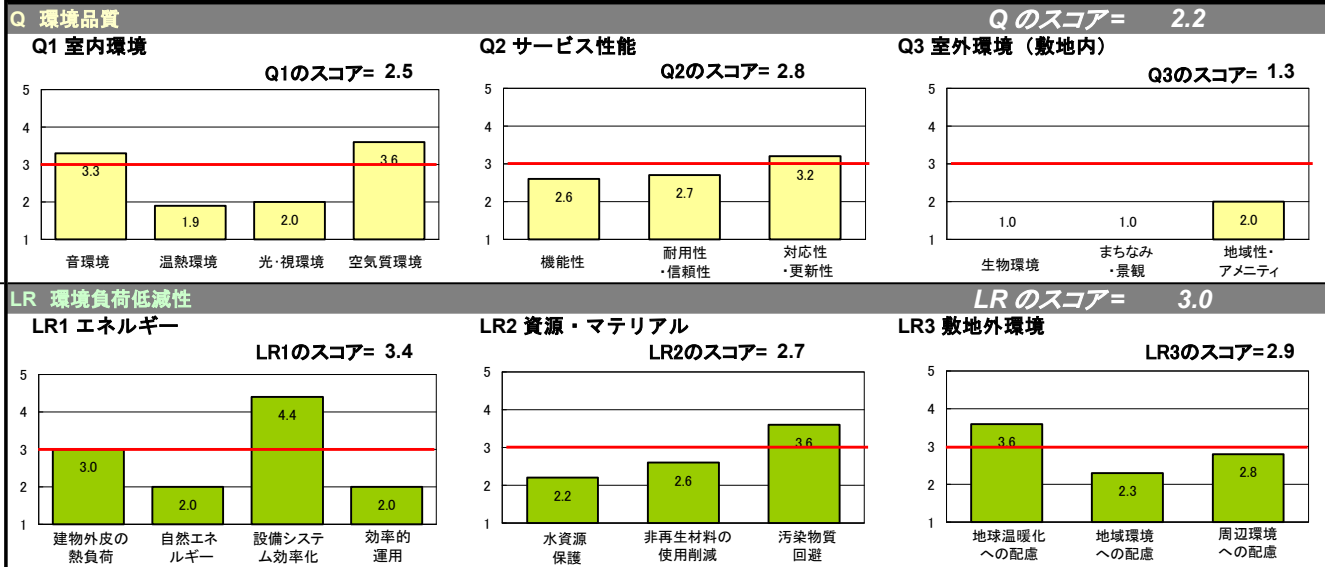
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
室内の音環境を良くし、天井高さを高く取り、断熱性能を少し上げることにより住みやすい部屋とし、また自転車置場台数を増やすことにより便利な住環境を作るようにしている。	特になし
Q1 室内環境 床スラブ厚180mm、居室フローリングをLr-45とし、また戸境壁を150mm厚コンクリートまたはDr-47の軽量間仕切り、サッシをT-2とし、音環境の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) エントランスホール前に植栽を広く設け、また中木を植え緑化に努めている。また、見通しの良い外構とし、防犯にも配慮している。
LR1 エネルギー 住戸壁断熱材、2階スラブ下断熱材、屋上断熱材を使用し、住戸断熱性能の向上に配慮している。	LR3 敷地外環境 自転車置場の台数を多く取ることによって、周辺へ自転車が放置されることを防ぐようにしている。
Q2 サービス性能 住戸居室の天井高さを高くし、開放性に配慮している。また、共用部配管は躯体を傷めずにメンテナンスができるようにしている。	LR2 資源・マテリアル 有害物質の少ない建材を用い、またオゾン層に影響の少ない吹付断熱材を用いるようにしている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.6

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.6
配慮事項	運用時のCO2削減に配慮した。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 1.0
Q3 / 3 / 3.2 /	敷地内温熱環境の向上 2.0
LR3/ 2 / 2.2 /	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	アプローチの緑化に配慮した。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 3.0
配慮事項	断熱性能の向上に配慮した。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 4.4
配慮事項	建物全体の一次エネルギー削減に配慮した。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]
外皮性能	等級3 (相当)	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.88	住宅部分[BEI] 0.88
		非住宅部分[BEI][BEI _m] -